



## ポーランド・クラクフでの 工学教育国際会議

都立産技高専 吉田喜一

実は今（20日（月）12時）、ポーランド・クラクフでの工学教育国際会議から帰ってきました。厳密にいうとワルシャワ空港を現地時間19日（日）朝11時にたち、モスクワに15時（現地時間）に着きました。飛行機を乗り継いでモスクワを19時40分（現地時間）に出発し、今日（20日（月））の朝10時に成田につきました。モスクワから約9時間飛行機に乗ってまだ時差ボケの状態です。ポーランドとは7時間、モスクワとは5時間の時差があります。ワルシャワとクラクフは特急で3時間くらいです。クラクフは日本の京都のような、おもむきのあるしつとりとした街です。

このクラクフの大学で技術教育・工学教育の国際会議に、本校の5年生と発表してきました。『戻る遊び道具による工学教育』、『ブーメラン紙コップの理論解析』を発表することになっていました。それぞれ15分発表、5分質疑の予定でいました。

ところが国際会議事務局から、大変面白いテーマなので2時間かけてワークシヨップでやってくれないかと要請されました。学生と相談して受けることにしました。外国の先生方に二人で戻る遊び道具の作り方を教え、それらがなぜ戻るのがかの理論解析

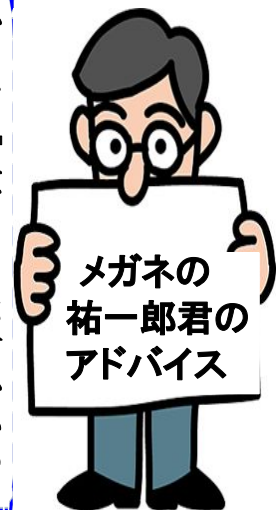
を紹介しました。二人で英語で漫才をやりました。実際に、紙ブーメラン、ブーメラン紙飛行機、ブーメラン紙トンボ、ブーメラン紙コップの作り方、遊び方・飛ばし方を教え、技術教育、工学教育の教材として大変有効なものだと認識していただきました。各国の先生方からさらに詳しい資料がほしい旨話をいただき、有意義な交流ができました。

アウシュビッツ・ビルケナウ（現地名オシフイエンチム）の強制収容所はクラクフから電車で2時間くらいの所です。せつかくのチャンスなので会議の合間をぬって訪れました。

実は私は10数年前にも行ったことがあるのですが、学生と一緒に再訪しました。前に行ったときは個人で見ることができたのですが、今は団体でないとみることができません。英語の団体に入れていただきました。いまさらながら大量虐殺の悲惨さを実感しました。戦争のない平和な世界を願うのみです。

国際会議のエクスカージョンで、やはりクラクフから車で30分くらいのところのヴェリチカ・岩塩採掘場にも訪れました。ユネスコの世界遺産になっています。地下300mくらいまで下り数キロメートル歩きました。1250年ころから採掘がはじまり1950年代まで稼働していました。その壮大さには大変圧倒されます。このような産業遺産をきちんと保存しているポーランドと地元の方々の熱意を感じる事ができました。

ところで、ここで岩塩で作った小さな飾り物を若干買ってきました。ご入用の方には差し上げます。鬼塚さんを通じてご連絡いただければ幸いです。



## 小さな「みどり」が育むいのち

当店の店先のプランターに、小さなミカンの木があります。これは一、二年くらい前に、食べたミカンの種を遊び心で蒔いたものです。実がなることは全く期待せず、まあ、芽が出てきたら大したものだな、という軽い気持ちでした。

蒔いた種のいくつかは、ちよろっとした芽を出し、その後30センチくらいまであつという間に大きくなりました。決して良い環境とは言えない中で、立派な生命力です。

その後しばらくすると、葉のいたるところに虫食いが広がっていることに気づきました。その後しばらくすると、葉のいたるところに虫食いが広がっていることに気づきました。いくと、小さな黒い虫や、やや大きな緑色のイモ虫が何匹か見つかりました。ご存知の方も多いと思いますが、これはアゲハチョウの幼虫です。私が小学生の頃は、この幼虫を見つけては教室や自宅で育てたものです。

アゲハチョウは年に数回、ミカンやサンショウの葉に直径1ミルくらい黄色い卵を産み付けます。ふ化した幼虫は、最初は黒っぽい外観です。これは、鳥のフンに擬態すること、外敵から身を守っていると言われている。成長して数回の脱皮をすると、緑色のイモ虫状になります。この色、葉の陰に隠れるとパツと見ただけでは気づかない隠蔽色になっています。また、外敵に

つかれたりすると、臭い角を出して威嚇します。子供の時、これを初めて目にした時は、その異臭と体の仕組みにびっくりしたものです。

店先の幼虫のうち、だいぶ大きくなって間もなくさなぎになりそうなものを、段ボールの箱に入れて観察してみました。数日後、箱の隅の方でさなぎに変身しているのを確認しました。さらに数日後、そこには羽化したアゲハチョウがいました。幼虫↓さなぎ↓成虫の、この変身ぶりには、大人の今でもわくわくする驚きがあります。この後、大人になったチョウは、ひらひらと飛んでいきました。

先日、またもやミカンの木に幼虫が育っていました。これを見つけた近所の教育現場の方から、「子どもに見せたいので譲ってもらえないでしょうか？」とお申し出を受けました。もちろん私は快諾し、子ども達に生命の神秘と感動を味わってほしいと願っています。小さなミカンの木から、早くもちよつとした収穫を得た気分でした。

【消費生活アドバイザー】  
佐藤 祐一郎



◆メガネのサトウ◆  
南千住5丁目43の13【コッ通り】  
TEL 03 (3806) 4930

★休業日のごあんない★  
9月：28（火）

10月7（木）、11（祝）12（火）、18（月）

※11・12日は、連休させていただきます。恐れ入りますが、どうかお早めにご用命下さいませ。★営業時間のごあんない★

平日（月～金）：AM 9時30分～PM 7時  
土・日・祝日：AM 10時30分～PM 6時